

項番	区分	ページ	箇所	誤	正	修正刷	補足事項
1		9	6行目	中石器時代	中期旧石器時代	1→2	
2		28	地図 凡例	「アケメネス朝の最大領域」の凡例(黄色)を追加		1→2	
3		60	下から15～14行目	前303年には「キリスト教徒大迫害」とよばれる弾圧をおこなっている。	「前」を削除	1→2	
4		62	6～7行目	前29年頃から	「前」を削除	1→2	
5		81	下から12～11行目	オーストネシア語族のチャム人	オーストロネシア語族のチャム人	1→2	
6		91	地図	句踐	勾踐	1→2	
7		93	13行目	趙政	政(趙政)	1→2	
8		126	下から9行目	後漢は燕雲十六州と	後晋は燕雲十六州と		次回増刷時に修正
9		144	地図 タイトル	「東南アジアのイスラーム化と14世紀の諸国家」	「東南アジアのイスラーム化と15世紀半ばの諸国家」	1→2	
10		165	下から5行目	コンスタンティープル	コンスタンティノープル	1→2	
11		169	下から10～9行目	マヌエル2世Manouel II (位1391～1425)	マヌエル1世Manouel I (位1143～80)	1→2	
12		190	地図	トリール フライダグ	トリーア フライブルク	1→2	
13		197	下から5行目	帝は有力な節度使の	皇帝は有力な節度使の	1→2	
14		205	下から11～10行目	採用し、ただ「ミシガン・ムケ」制度によって	採用したが、ただ「ミシガン・ムケ」制度によって	1→2	
15		223	9行目	反元派の国王から明を攻撃する	親元派の国王から明を攻撃する		次回増刷時に修正
16		229	コラム 下から7行目	きょう 轎かき	かご 轎かき	1→2	
17		238	下から7～1行目	ヨーロッパ船の貿易量は、 <b>来航地が広州に限定されてからも増加しつづけ…</b> 。…人口も急速に増加していき、18世紀の100年間で、中国の人口は1億数千万から3億へとほぼ倍増したと推定されている。このような人口増にもかかわらず、 <b>食糧不足が深刻化しなかった理由の1つは、</b>	ヨーロッパ船の貿易量は、 <b>その後も増加しつづけ…</b> 。…人口も急速に増加し、18世紀を通じて中国の人口は1億数千万から3億へと倍増した。 <b>土地の重要性が高まるなかで、18世紀初めには、丁税(人頭税)を土地税に繰り込んで一本化する地丁銀制が税制の基本となった。このような人口増を支えた要因の1つは、</b>	1→2	「地丁銀制」の内容を追加
18		296	表	1740 ヒューム『人間悟性論』(英)	1739～40 ヒューム『人間本性論』(英)	1→2	
19		313	21行目	ようやく1876年、財務総監カロンヌは、	ようやく1786年、財務総監カロンヌは、	1→2	
20		336	コラム 下から4～3行目	シカゴの例に懲りたからではなく	フィラデルフィアの例に懲りたからではなく	1→2	
21		349	8行目	チリのサンディエゴ	チリのサンチアゴ	1→2	
22		351	16行目	アメリカの領土面積は223.8km <sup>2</sup> であったが、1900年には766.6km <sup>2</sup> と、	アメリカの領土面積は223.8万km <sup>2</sup> であったが、1900年には766.6万km <sup>2</sup> と、	1→2	
23		367	下から4行目	プロシア軍事顧問	プロイセン軍事顧問	1→2	
24		376	24～25行目	藩王取りつぶし政策	藩王国取りつぶし政策	1→2	
25		388	9行目	砲艦政策から	砲艦外交から	1→2	
26		388	22行目	同治の中興といわれる <b>時期</b> に進められたのが	同治の中興といわれる <b>時期以降</b> に進められたのが	1→2	
27		400	下から11～10行目	ケープ植民地首相セルシル＝ローズを <b>支援</b> して、99年に南アフリカ(南ア、ブル)戦争を起こした。	ケープ植民地首相セルシル＝ローズの <b>拡張政策を引き継いで</b> 、99年に南アフリカ(南ア、ブル)戦争を起こした。	1→2	
28		402	下から5行目	ヴィヘルム1世	ヴィルヘルム1世	1→2	
29		412	下から4行目	1980年代には	1890年代には	1→2	
30		412	下から4行目	<b>自ら</b> アフリカや太平洋地域に進出するようになり	<b>本格的に</b> アフリカや太平洋地域に進出するようになり		次回増刷時に修正
31		418	21行目	<b>ロシア</b> のバルト海から回航してきたバルチック艦隊	バルト海から回航してきた <b>ロシア</b> のバルチック艦隊	1→2	
32		420	下から4行目	広東省や仏領インドシナなどの南方で	広東省や仏領インドシナと <b>中国の国境地域</b> などの南方で	1→2	
33		434	下から10行目	無賠償	無償金	1→2	
34		437	下から13行目	無賠償	無償金	1→2	
35		437	下から4行目	ブレスト＝リトフスク条約が結ばれ	<b>同盟国との間で</b> ブレスト＝リトフスク条約が結ばれ	1→2	
36		449	3行目	ホルティHorthy(1868～1959)	ホルティHorthy(1868～1957)	1→2	

37		468	下から9~8行目	1933年7月に開催されたロンドン世界経済会議では	1933年6月に開催されたロンドン世界経済会議では	1→2	
38		470	下から16~15行目	日本は国際連盟を脱退した。翌33年に日本軍は	日本は翌33年に国際連盟を脱退した。同年、日本軍は	1→2	
39		475	コラム 8行目	「美の祭典」と題する	「オリンピア(民族の祭典・美の祭典)」と題する	1→2	
40		481	1行目	8月23日	1939年8月23日	1→2	
41		483	12行目	対ソ戦作戦計画バルバロッサ	対ソ戦作戦計画バルバロッサ	1→2	
42		485	下から2行目	1941年1月にマニラを、	1942年1月にマニラを、	1→2	
43		486	23行目	三国同盟側とは	日独伊三国同盟側とは	1→2	
44		496	コラム 下から8行目	トルコ海峡への圧力	ボスフォラス・ダーダネルス海峡への圧力	1→2	
45		501	6行目	親独のレザーシャー	親独のレザー＝ハーン	1→2	
46		529	下から3行目	12月25日、ソ連は消滅した	12月26日、ソ連は消滅した	1→2	
47		535	コラム 7~8行目	シアヌーク国王が…。シアヌークは	シハヌーク国王が…。シハヌークは	1→2	